

平成 23 年 11 月
= 発行 =

秋田県生涯学習センター
〒010-0955 秋田市山王中島町 1-1
TEL : 018-865-1171
FAX : 018-824-1799
E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp
編集担当：社会教育アドバイザー

落ち葉が風に舞い、木枯らしの季節がやってきました。公園の雪吊りを思い出し、せめて今年は大雪になりませんように、と願わずにはおられません。暖かい部屋で家族団らんの食事を取りながら、東日本大震災の被災地の寒さ対策はできているのかと心配している方も多いことでしょう。

世界の経済状況が毎日のように報道されていますが、グローバル社会の厳しさを感じます。国民の多くが幸福感を感じているブータンの若い国王夫妻が来日されました。ブータンの生活の様子は、いかがなのでしょう。被災地を訪問し、両手を合わせる夫妻の姿が印象的でした。



子どもの“食”は、心と体をつくる基礎！

秋田の子どもたちは、学力と同様に体格も上位クラスという喜ばしいデータがありますが、肥満傾向の子どもが多いとの情報もあります。

子どもの“食”は、胎児のときから始まっているとのこと。胎児は羊水の中で育ちますが、なんと、お母さんが食べた食物によって羊水の味も変わるということです。お母さんの毎日の食事が、胎児の食育の第一歩のようです。

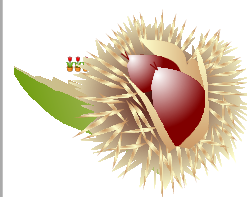
また、妊娠末期の3か月は赤ちゃんの脂肪細胞数が決まる時期なので、子どもの肥満を考えると、この時期のお母さんの栄養過多には注意した方がよいようです。生まれてからの子どもは、様々なことを体験して心と体を育てていきます。離乳食の時期から本格的な食育が始まったと考えた方がよいと思います。

健やかな心と体の成長と“食”の関係はとても深いので、子ども時代は心と体の基礎づくりの時期であることを意識して、将来のことを考えながら食育をしていってほしいと思います。(秋田県教育庁 幼保推進課「いっばいっば」参照)

篠 二 枝
木 十 線
や 四 の
朝 と 国
な 知 境
朝 り 跨
な て ぐ
の 息 小
紅 の 六
深 む 月
む 一
葉 景
忌

武藤

素魚



「秋田ペロタクシープロジェクト」をご存じ？

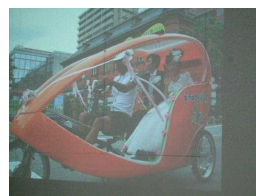
美の国カレッジ あきた学専門講座

「THE スペシャリスト」より (11月19日)

2006年「環境にやさしい豊かな社会を次世代に！」

ということで立ち上げたS i N Gの思いと活動の様子が紹介されました。

武内伸文氏は、米国企業8年間勤務と2年半の英国での大学院生活の中で体験し考えたことを生かして、秋田で「グリーンドリンクス」「わらしべ貯金箱」「ペロタクシー」「商店街スゴロク」など様々な活動を展開しています。右の写真は、ペロタクシーでの結婚式です。「自然体で楽しみながら社会を明るくする活動をしている」と語りました。





特別支援学級の子どもたちの頑張りに拍手！



第2回なかよし文化祭（主催：秋田市教育委員会・秋田市特別支援教育研究会）が、平成23年11月11日（金）秋田県生涯学習センター・秋田県児童会館で開催されました。

ステージ部門では、吹奏楽やミニアンサンブル、歌、リコーダー、ピアノなどの発表がありました。お話タイムには、秋田市立中央図書館明徳館ボランティアによるエプロンシアターと紙芝居の読み聞かせがありました。最後はみんなで「マル・マル・モリ・モリ」を歌いました。参観者は、手拍子を打ったり拍手を送ったりして、子どもたちを応援していました。一生懸命頑張っている姿が感動的でした。県内各地にある特別支援学校・特別支援学級の子どもたちも、それぞれの学校や地域で自分たちの頑張りを公開していることと思います。大いに応援していきたいと思います。

文化祭



作品展

平成23年 第60回 秋田県発明展表彰式

主催：秋田県・（財）あきた企業活性化センター 主管：秋田県発明協会

秋田県の発明展には今年度98点の応募があり、11月17日（木）、秋田県生涯学習センターにおいて表彰式が行われました。11月10日の審査終了後、11月12日・13日の両日一般公開され、秋田県生涯学習センターの作品展示会場には264名の人が訪れ、創意工夫された作品を鑑賞しました。

表彰式では、一人一人に賞状と盾が手渡され、最後に、東北経済産業局長賞を受賞した釈迦内小学校の田原羽蘭さんが、作品の工夫したところを発表し、「プラネタリウムで星座を見たいと思った。最後まであきらめずに作ってよかった。」と話していました。県内各地域の応募を数えると、1100点以上の作品の中からの受賞でした。子どもたちは、創造することの楽しさと苦労という貴重な体験をしたようです。今回応募された作品の中から21点が全国発明展に推薦されることになりました。



